

# 17つうしん



私たちがめざす目標は

『自然・地域・世代がひとつになるまち』です  
<http://WWW.mctv.ne.jp/~maky311>

発行元  
徳和ヘルシー17クラブ  
事務所：徳和地区市民センター内  
連絡先：0598-20-1100

# 2007



# 美化ウォーク

6月16日当クラブ恒例の、声掛け美化ウォークを会員のみで行ないました。参加者から寄せられた感想をご紹介します。

## 美化ウォークに参加して

入梅宣言があつてすぐ、梅雨の中休みとの報道も流れ好天気にも恵まれ、6月16日(土)に予定通り「美化ウォーク」を実施しました。  
午前九時松阪市老人福祉センターに集合し今回は、会員のみとすることで明るく元気な笑顔の女性12名、男性10名が集まり、湿度の低いよく晴れた青空を仰いで準備運動としてラジオ体操の後、四グループに分かれ三重高通りをコメリ方向、マックスバリュ方面へと出発。

### 挨拶の励行

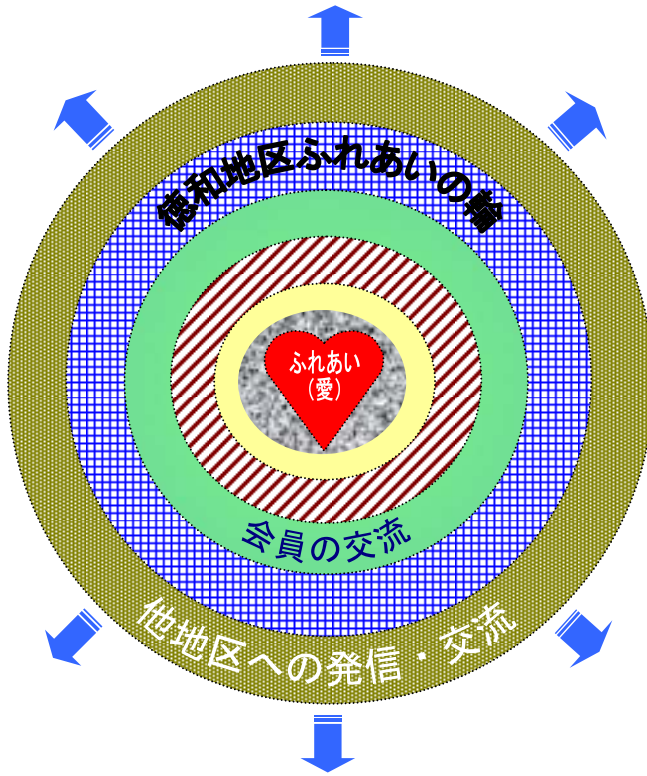
往路はウォークと声掛け運動を行なう。会員が、歩行者、自転車の人に「おはようございます」の声、かけられた人もびっくりしたようですが、返事は返ってきます。声のなかった人からは、会釈をもらいました。特に外国人の方の反応の早さには感心するものがあります。今日の空のように晴々と気分がよくなりました。

帰りのゴミも回を重ねる毎に少なくなり用意された軽トラックも余裕でうれしそうです。特にタバコの吸殻も少なくなり、心ある地域の人のボランティア活動のおかげかと思えます。自販機の付近の不燃物が少し気になりましたが、回収容器は見るところにおいて欲しい。毎回の実施で思う事ですが「自然・地域・世代」が早く一つになる町に近づきたいと念じつつ次回を楽しみに終わりました。 M

### 会の「すがた」

当クラブも発足5年目に入り、会員の増加と共に改めて全員で勉強会をする事になり

ました。6月の定例会に行なわれた内容を紹介します。会員それぞれが、17クラブにどんなことがあればよいと思ふかを出し合いました。  
▼17クラブにあるといいもの、それは『交流』。会員同士の交流を核に、地域・他地区へとふれあいの輪を広げていく事が、活動の中心のなねらいいといえます。  
次にこの活動の実現のために、会員としてどんなことができるかを考えました。



### 会員の交流のためには

先ずは「会員自身が大いに楽しむ事が大原則」  
楽しい事は元気が出る事、健康につながる事です。楽しいことは、みんなを元気にしていきます。

### 徳和地域のふれあいの輪のために

17クラブの行事を紹介し、挨拶を交わしていく。イベントなどの活動を通して、17クラブの存在を、1人でも多く徳和地区の方に知ってもらおう。地域の方に参加してもらい、ふれあいの輪を広げていこうと

確認しました。ふれあいの輪を広げていくとき、大切にしたいものは「笑顔」  
笑顔あふれるイメージは、「健康」「ふれあいの楽しいひととき」「一家団欒」  
「安心である町・地区」子供さんからお年よりまで、互いに思いやりを持つ「誰でも自然に挨拶が出来る」地域の人が出会える場がある「イベントや行事での交流・ふれあいがもてる」

### 地域の紹介

★ ★ 下村町 ★ ★  
当地区は、古くから農村として、推移してきましたが、私立三重高校が開校しその後、田村高須線(三重高通り)が昭和35年頃に開通してからは交通が便利になり宅地開発が急速に進み一般住宅、マンション、アパート等の建築が加速しました。そして、スーパー、コンビニの進出、病院、薬局などの開業で日常生活は

となりました。これからも定期的に勉強会を続けて、目的関連図を一本にまとめていきたいと思えます。



神戸神館神明社(カンベコタチンメイシヤ)  
垂仁天皇の時代(神武天皇より11代目)天照皇大神宮は倭姫命を従えて、各地を廻られ22年(癸丑ミズノトウシ)12月28日より当地に4年間鎮座された。以来神戸6郷下村、上川、大津、垣鼻、久保駅部田の総社として崇敬を集めている。



町内の家族運動会



ユニカール大会に参加しました

6月24日(日)徳和公民館主催の「ふれあいユニカール夏季大会」には、42チームが出場し参加人数が保護者を含めて180人と過去最高で盛大に行なわれました。  
この競技は、小学生からシニア

まで幅広い年代層が参加することが出来、世代間の交流には一番相応しい競技です。  
このことは、当クラブがめざす目標でもある「自然・地域・世代がひとつになるまち」にも一致することもあり、今回2チーム参加させていただきました。結果は、善戦むなしく途中で敗退しましたが、参加することの意義を感じました。  
三位までのチームは次の通りです。

- ・優勝 南徳和Iチーム
- ・準優勝 高田シニアBチーム
- ・三位 南徳和Bチーム



編集部より

「17つうしん」も8回目の発行を数えますが、三号からは紙面もA3になり容量的には4550文字が扱えるようになり情報量も一気に増えました。又発行部数は、4700部で徳和地区全戸に配布されていますが、これも自治会の協力なくしては出来ない事なので、大変感謝しています。これからも、「徳和ヘルシー17クラブ」をよろしくご支援のほどお願い致します。 Y